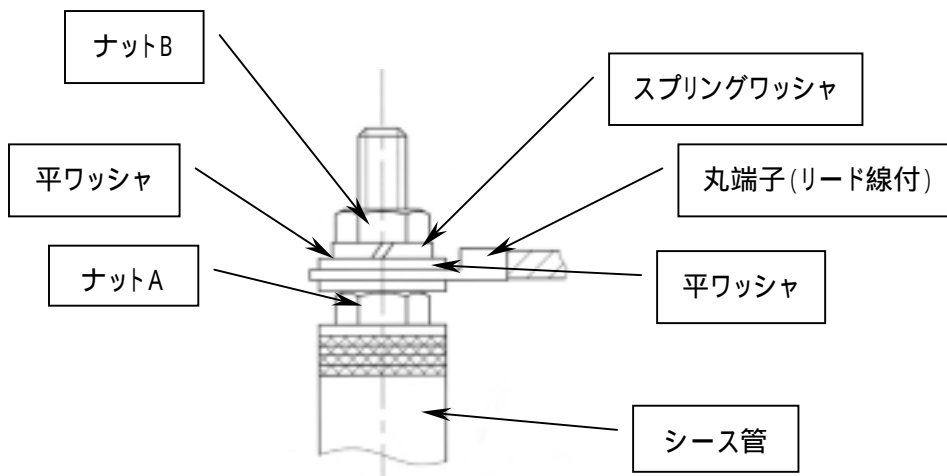


[チューブラヒータ構造]



・使用工具

- ヒータ径： 8 M3 (5.5mm 平スパナ×2本)
- ヒータ径： 10 M4 (7mm 平スパナ×2本)
- ヒータ径： 12 M5 (8mm 平スパナ×2本)
- 耐熱テープ： # 3 6 1 (耐熱温度260 以下) *必ず# 3 6 1を使用の事。

・作業手順

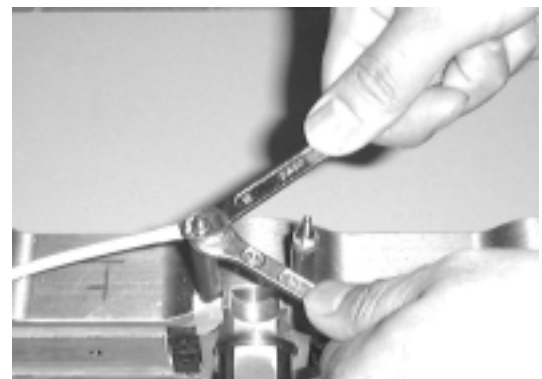
ナットBを緩めスプリングワッシャ、平ワッシャを外す。

ナットAを平スパナで締め込む。(ナットAの緩み確認。)



平ワッシャ、丸端子(リード線付)、平ワッシャ、スプリングワッシャ、ナットBの順に入れ、平スパナでナットAを固定しながら、ナットBを平スパナで締め付ける。

ナットAとナットBで、丸端子を挟み込む様にしっかり締め付ける。



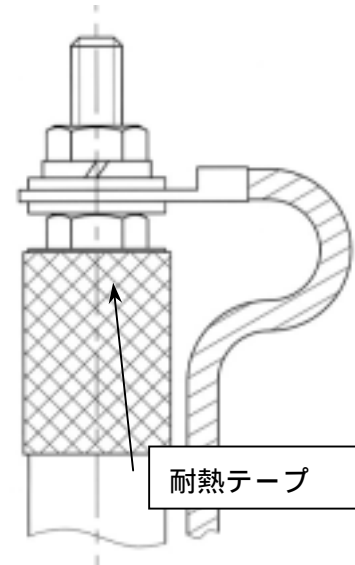
M3のナットはナメ易いため、締めすぎにご注意下さい。

リード線が直接シース管に接触しない様に、シース管に耐熱テープを3～4回巻く。

熱劣化による絶縁不良のトラブルを防ぐ為、丸端子は、曲げない。

リード線は、シース管に耐熱テープ等で固定しないでください。

ヒータ用リード線は、ニッケル覆導線を使用。
(ニッケル覆導線の耐熱温度は、400℃)



ナット、丸端子等の接続部の絶縁を耐熱テープで行う。

